

高大連携・接続 勉強会 (第1回 対象教科：地歴・公民) アンケート集計

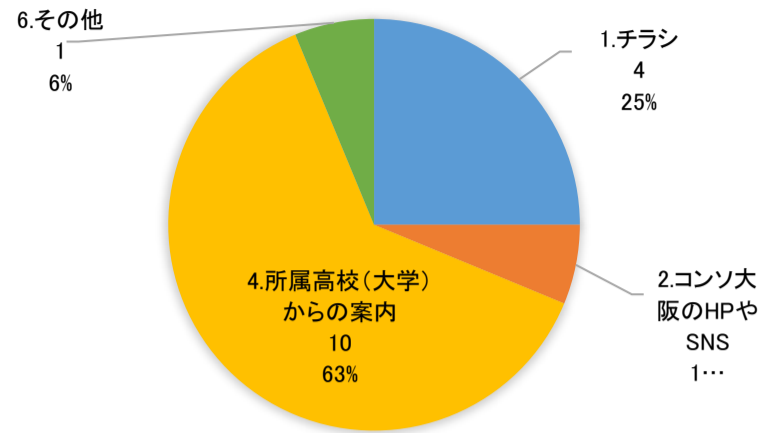
(回答者 16名/出席者 17名)

1. 勉強会を何で知ったか

1.チラシ	4
2.コンソ大阪のHPやSNS	1
3.教育委員会の案内	0
4.所属高校(大学)からの案内	10
5.所属研究会からの案内	0
6.その他	1

16

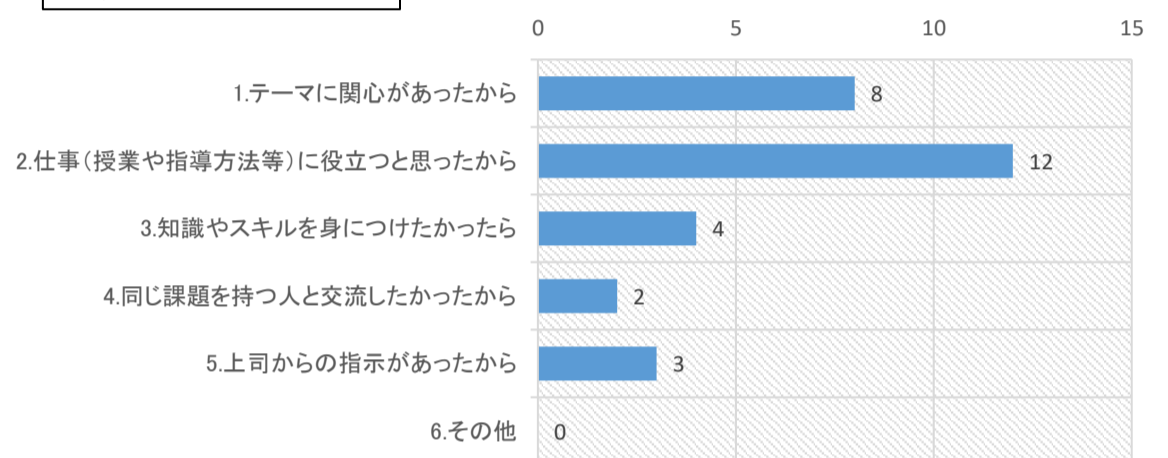
1. 勉強会を何で知ったか (単位:名)



2. 参加理由(複数回答可・2つまで)

1.テーマに関心があったから	8
2.仕事(授業や指導方法等)に役立つと思ったから	12
3.知識やスキルを身につけたかったら	4
4.同じ課題を持つ人と交流したかったから	2
5.上司からの指示があったから	3
6.その他	0

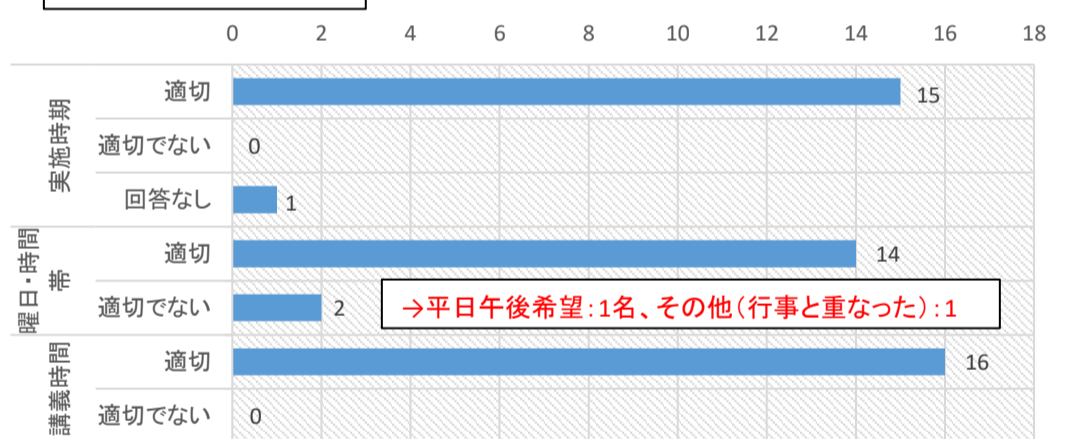
2. 参加理由 (単位:名)



3. 実施日程

実施時期	適切	15
	適切でない	0
	回答なし	1
曜日・時間帯	適切	14
	適切でない	2
講義時間	適切	16
	適切でない	0

3. 実施日程(単位:名)

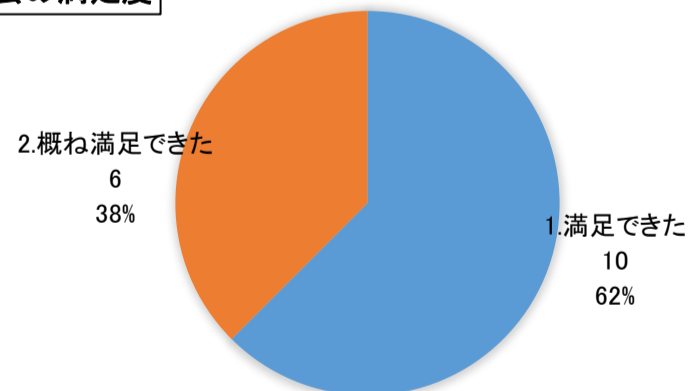


4. 勉強会の満足度

1.満足できた	10
2.概ね満足できた	6
3.満足できない点があった	0
4.不満だった	0
5.回答なし	0

16

4. 勉強会の満足度



【改善点】

最後におっしゃっていたこの会の「目的」を最初に聞いておきたかった。

グループディスカッションでメンバーを入れ替えていただき、他の方もディスカッションできればよかったです。

メンバー各々の発言を全体でシェアすることもいできればより良い。

大学教員の参加をお願いします。

事前に資料を見ることができればありがたいです。

大学側の出席者がもう少し増えると良い。(大学の種類が増えると良い)

5. 今後の勉強会で希望するテーマ

アクティブラーニングとICT教育の展開・手法等
いわゆるアクティブラーニングの具体的な方法
アクティブラーニングのすすめ方
ペーパーテストのありかた。その効用と限界
高校側の入試での要望をうかがいたい
新しい入試に対応した問題の作り方や授業の創り方。実践事例がありましたらそれをも通じて学べればと思います
ICT活用について、大学では、活用例を知りたい
新しい教育に向けた準備。新しい大学入試へのアプローチ。新しい指導要領

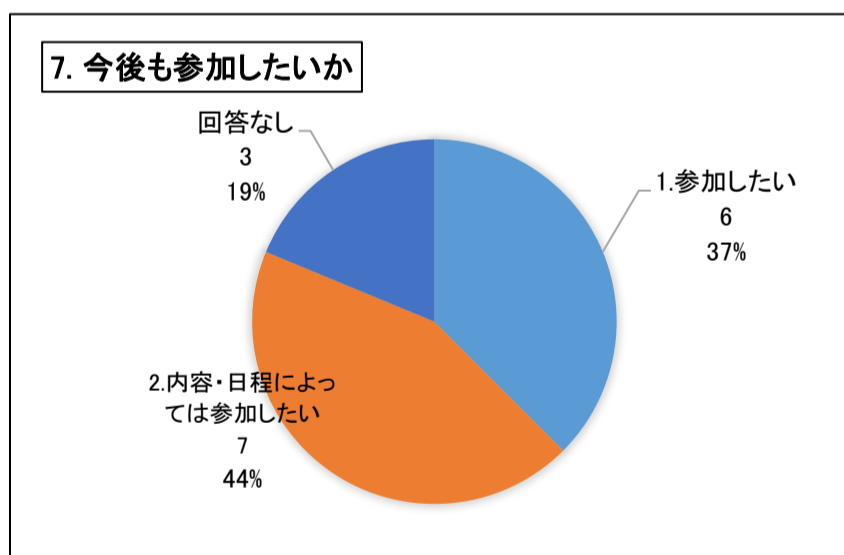
6. 勉強会の感想、意見

高校の先生のみでなく、大学の先生方とディスカッションできたのが大変よかったです。ありがとうございました。
聞きなれない言葉が多かったように感じる。自身の勉強不足。
大変勉強になりました。最初にお話しされていたように、このような視点の勉強会がなく、大変有意義でした。無理をお願いし、府外から参加させていただきました。ありがとうございました。次回も参加させていただきたく思います。
教員経験はまだ3年目で、なかなか教科指導(教科書を終わらせる)ということに傾きがちですが、色々な意見を聞くことでもっと本質的な部分で教科の探求をしていかななくては、と感じました。ありがとうございました。
大教大の具体的な小論文入試の内容を知ることが出来て、とても有意義でした。またICTを利用した主体性の評価については、新しい知識として、とても新鮮でした。そして色々考えさせられることも多かったです。ありがとうございました。
教科書内容をひと通り終わらせるのに時間いっぱいなので、"新しい入試"に必要な学びや評価をどのように取り入れていくか、今後とも学んでいきたいと思います。
水野先生のお話にあった小論文で問われる力は、今後の社会科の教科再編や入試改革に大きく関わることだと大変勉強になりました。データや文章の読み取り、表現は本当に今の生徒たちに不足している力だと思います。ですが、どうすればそのような力をつけさせることができるか、現行のカリキュラム、入試ではなかなか難しいと感じます。これから色々考えていきたいと思います。
色々な意見を伺って非常に有意義でした！有難うございました！

7. 今後も参加したいか

1.参加したい	6
2.内容・日程によっては参加したい	7
3.参加したくない	0
4.その他	0
回答なし	3

16



8. 回答者について

1.高校教員	12	(社会科:12名)
2.大学教員	1	(国語・高等教育:1名)
3.大学職員	0	
回答なし	3	

16

